



少年少女スポーツ（相撲）

会場地：新温泉町（旧浜坂町）、南あわじ市（旧：三原町）

競技紹介

相撲は日本の“国技”とされているスポーツで、その起源は『古事記』に著されている“力くらべ”とされています。

礼に始まり礼に終わるという作法からくる、礼儀を重んじる態度。そして戦いの場所となる土俵に上がり、正々堂々闘う姿。勝っても負けても感情を表に出さない態度。そういった態度も相撲の魅力の一つです。

会場地となる浜坂町では、古くから町内はもとより近隣の市町の小学生を対象とした相撲大会を毎年開催し、子どもたちの心身の鍛練と健康増進を図っています。

また、南あわじ市でも、府中相撲保存会と地域が一体となり、参画と協働の基に、市内全小学生を対象とした大会を開催し、29回を数えています。

行事では、小学生の子どもたちに相撲の楽しさとともに、礼節を重んじ、心身が鍛えられる相撲の伝統と魅力を伝えたいと考えています。

競技方法



日本相撲連盟競技規定並びに各会場地相撲連盟競技規定に準じて行います。

競技は、小学生を対象に、個人戦（新温泉町は女子の部あり）と団体戦（新温泉町は女子の部あり）を行います。

個人戦は、4年生（浜坂町は、4年生以下も可）、5年生、6年生の部とします。

団体戦のチーム編成は、監督1名、選手5名（浜坂町は3名）、交代選手1名とします。

参加選手は、短パン等の上からまわしを着用してもよい。

競技場の概要

【会 場】

新温泉町 浜坂相撲場



新温泉町では、毎年相撲大会を開催しています。大会では、町内はもとより近隣の市町から、100名以上のちびっ子力士が参加し、熱戦を繰り広げています。

また、小学生の体力向上と相撲の普及を目的として、町内の小学生を対象とした相撲教室を実施しており、多くの小学生が参加しています。

南あわじ市 えなみふちゅうはちまん 榎列府中八幡相撲場



えなみふちゅう 榎列府中相撲大会は地元保存会と地域が一体となって開催し、南あわじ市内の小学生約130名が参加する大会です。

本大会は団体戦（選手5人）、個人戦及び「とびつき」と呼ばれる種目に分かれています。とびつきとは学年別に連続で3人勝ち抜くと景品のついた「笹」が授与される、本大会独特の競技です。